

岸田てつはる

区政報告 No27

発行所：自民党大田区民連合（政務調査係） 住所：大田区蒲田 5-13-14 電話：03-5744-1480



平成29年度（2017年度）の新年度が始まりました。

大田区は「暮らしてよし、訪れてよし、地域力あふれる国際都市おおた」の実現を目指して前年度比1.7%増の積極予算、一般会計2千6百18億円余を編成しました。

この当初予算に勝海舟記念館（仮称）旧清明文庫の改修・増築工事3億8千9百72万2千円、収蔵資料購入・研究1千6百76万6千円、PR事業32万4千円、合計4億6百81万円余が計上されています。いよいよ開館に向けての事業が動き出すことになりました。

新年度予算を審議する今回の予算特別委員会で勝海舟記念館（仮称）について、大田区が平成24年3月に旧清明文庫を取得し、平成27年3月に基本計画が作成され、平成28年8月に基本プランが地域産業委員会に提出されました。

勝海舟記念館（仮称）の基本計画と基本プランとの違いと、その説明がどの様になっているのか、記念館の内容について、全国初の勝海舟記念館（仮称）として、素晴らしい記念館となるよう願いを込めて質疑し、併せて洗足池図書館周辺の整備事業について、ご報告いたします。

第一回大田区議会定例会
一般質問

自由民主党大田区議団

岸田てつはる

質問

今回の予算案に総務費・観光国際費の文化国際費、文化施設建設費あわせて4億681万円の勝海舟記念館（仮称）の整備費が計上されました。

いよいよ、開館に向けての整備が進むということで大変期待をしております。ただ、取得をしてから6年間も閉鎖され、いまでもこの状態では、地域の人たちも疑問を持たれております。

その中で、平成27年3月に提出されました勝海舟記念館（仮称）整備事業基本計画と、昨年8月に地域産業委員会に提出された基本プランがこれまでと少し異なり、なぜ変更になったのか、そしてその説明をどのようにしていたのかをお伺いします。

回答（文化計画・施設担当）
平成27年3月の勝海舟記念館（仮称）整備事業基本計画では、増築棟を既存棟の西の公園側に設置

する当初プランをお示しました。その後、基本計画へと、より具体的に検討を進める中で、西側より東側の方が、増築棟の面積を広くとることが可能となり、増築棟にミュージアムショップ、会議室などの機能を新たに置くことが良いとの判断をいたしました。

増築棟を東側に変更したことは、平成28年8月の地域産業委員会にて変更後の設計図をお示しする形でご説明いたしました。

質問
区が取得した経緯、その後の進捗過程を教えてください。

回答（文化計画・施設担当）
平成24年3月に区は前所有者より土地を取得し、あわせて建物の寄付を受けました。所有に至るまでの経緯につきまして、前所有者が高齢者施設への建て替えを検討していたところ、都市計画公園である洗足池公園の優先整備区域に指定されているため、区が購入を申し入れたものでございます。

区の所有となって以降、平成25年度には、施設整

備について文化財としての建物の姿を後世に伝えるとともに、建物の由来や地域の歴史文化を踏まえ、勝海舟の足跡を現在に伝えることのできる施設とする旨を報告し、文化財保護のあり方などの基礎調査をおこない、平成27年3月に基本計画を策定いたしました。

平成27年度、文化財建造物を保存活用するため、既存建物躯体補足調査及び文化財保存活用計画策定を行いました。当初の基本計画策定時の開館予定が平成29年度末としておりましたが、これらの調査等により開館時期を見直す必要が生じてまいりました。

28年度に入り、8月の地域産業委員会及び9月の住民説明会にて施設の基本設計完了の報告とともに、変更後の平成30年12月の開館予定についてお示しをいたしました。平成28年度当初、本記念館で展示等に活用できる勝海舟関連資料は約70点と見込んでおりましたが、最近になり、4千点を超えることが判明しました。未公開資料が多く、正確な展示公開をおこな

うため、資料の整理・研究に時間を要する等の理由により、平成31年夏までの開館をめざしてまいります。

開館を楽しみにしている地域の皆さまにはご参加いただけるような、機運醸成を図りながら、プレオープンイベントを段階的に開催してまいりたいと考えております。

質問

地域はもとより、勝海舟に関心を持っている日本中の数多くの方々が、この開館を待ち望んでいます。

なぜ遅れたのか是非、丁寧に説明をしていただきたいと思っております。

また、この記念館の入場料を含め、どのようなイベントを開催するのか、ここでの食事が出来るのか、皆さん関心示しています。地域の声を反映し、どのように勝海舟記念館の運営を進めていくのかお伺いします。

回答（文化計画・施設担当）

勝海舟記念館（仮称）は、基本計画において整備方針といたしました。勝海舟の想いが伝わる記念館とすること、文化財建造物の保存・活用を行うこ

とを軸に、学びの場を提供する施設、観光資源となる施設、地域の方に親しまれる施設とするこ

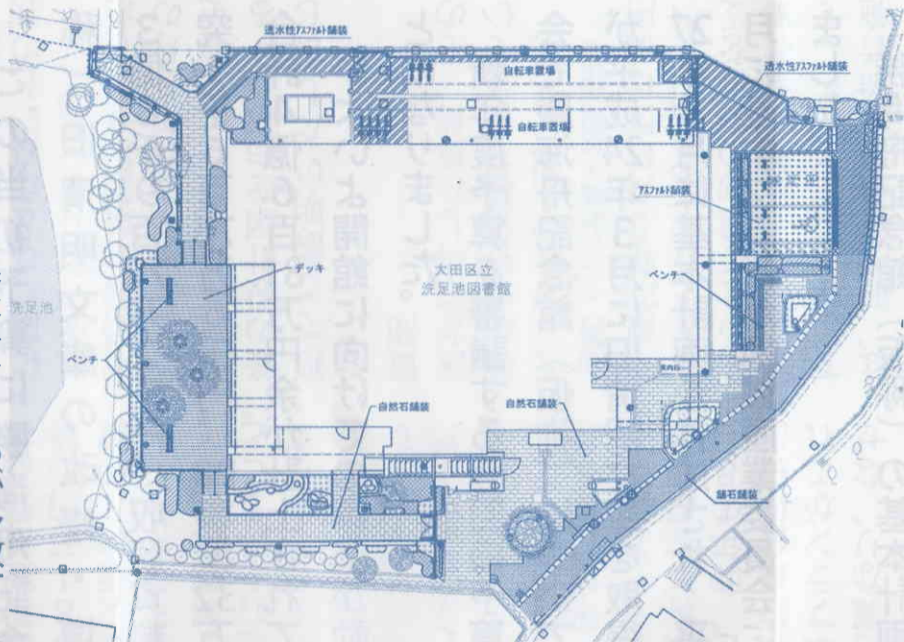
とをめざし整備に取り組んでおります。

入館料につきましては、「有料であることが収蔵品の価値を高めることに

う準備してまいります。また、記念館に来た方が、軽食等をとって寛いでいただく時間が過ごせるように、引き続き準備してまいります。

質問

皆さんが期待している勝



もつながる」と基本計画で謳っております。

公共の記念館として地域の皆さまに親しまれること、貴重な資料を展示する質の高い記念館としていくことの両面を踏まえ、入館料について、適切な時期に設定できるよ

海舟記念館（仮称）の価値を高め、大田区として誇れる良いものを作っていただきたいと思っております。美術館とか博物館、それらには素晴らしいレストランを兼ね備えてるところが多数あります。

地域での説明会では、軽食、アルコールでも飲みながらゆっくりとした時間を共有したいと言う声も出されたと聞き及んでいます。

があるのか。

着工以前に6年間もあつたのに、埋蔵文化財の調査は済んでなかったのか、どのような経緯で文化財の調査をやり始めたのか。

それにより、また工事が遅れる可能性があるのか心配しています。

回答（大田図書館長）

勝海舟記念館（仮称）の敷地は、大田区が指定した勝海舟墓所付近遺跡の範囲内に位置し、縄文時代の遺跡として知られている埋蔵文化財包蔵地にございます。

このような包蔵地で工事を行う場合は、事前に調査を行うことが文化財保護法に規定されております。

今般、勝海舟記念館（仮称）や洗足池公園付近の整備事業が進められ、遺跡に影響を与える工事を行う範囲が明確になったため、この時期に実施することになったものでございます。

現在行われている確認調査は、敷地の東側を中心に11箇所調査区を設定し、約1・2メートルの深さまで人力により掘削し、土器や石器などの遺

物が埋設されていないか確認するものでござい

ます。

埋蔵文化財の調査は現状保存が原則であり、必要以上範囲を広げて深く掘削することは遺跡の破

壊に繋がるため、調査地点を慎重に選定し、調査を実施してまいります。

質問

今回、勝海舟記念館（仮称）が少し遅れるという話の中、今年、大政奉還から150周年というこ

とで、全国各地で明治維新のイベントが行われるようになりました。

都内16か17の自治体がそれぞれイベントを計画しています。

今回、大政奉還の150周年に関しては大田区として何かアプローチをしているのか、また、来年は江戸城総攻撃を寸前のところで抑え大きな歴史

の展開期と言える江戸城無血開城で尽力した、勝海舟と西郷隆盛。大田区としてはどのような考えでいるのか。大田区独自の開催はもと

より、東京都に呼びかけて、大々的なイベントを行っていただきたいなと思っておりますが、お伺いいたします。

回答（文化計画・施設担当）

地元の方からは、平成22年に坂本竜馬が主人公のドラマが放映された際、洗足池公園は勝海舟ゆかりの地を訪れる方で賑わったと聞いておりま

す。

平成30年は、江戸無血開城150年にあたりま

す。これを機会に勝海舟記念館（仮称）の機運醸成を図るイベント等を考えております。

さらに、平成31年は勝海舟没後120年に向け、没後120年に向け盛大に行う取り組みを考えております。

区独自の開催のみならず、東京都への呼びかけ、勝海舟を縁につながる他自治体との連携を図ることなど、記念館の開館に向け、様々な方法で、大いに機運を盛り上げてまいりたいと考えております。

皆様のご意見ご要望をお待ちしています。